

# 6月22日 KHJ 総会と支部長会議 開催



KHJ 総会と支部長会議が6月22日、東京都港勤労福祉会館で午後1時20分から午後5時まで開催されました。その要旨を紹介致します。

**定款の変更 (5件)**  
名称 (1条) を「全国ひきこもり KHJ 家族会連合会」(略称「全ひき連」)、事務所 (2条) を「東京豊島区」、目的 (3条) では、今までの「精神障害者」を「心の健康を維持できない」と「メンタルヘルスケア」を「メンタルヘルスケア」に、事業の種類 (5条) では「若者」を「ひきこもり当事者」に変更。

**総会**  
定刻になり、池田佳世理事長が、開会を宣言し、議長に境泉洋理事が全員異議なく承認・就任。  
池田理事長より報告事項として「新たな役員として、伊藤正俊理事、牟田武生監事の就任」「本部事務局は、上田理香、野中俊介と、新たに深谷守貞、神田映子、岸武彦を加え、5人体制にする」「諸規程の整備・明



文化、資金強化をはかる」があり、議事録署名人名として中村進副理事長と正会員市川乙允氏(東京都楽の会)リウを承認し、議案として①「平成25年度事業報告」、②「平成26年度事業報告」、③「平成26年度事業計画案」、④「平成26年度収支予算案」、⑤「定

「ピアサポーター養成派遣事業」については、総会の前にKHJの「ピアサポーター委員会」(写真)が開催され、6月20日、厚労省に認定されたピアサポーター業務の具体化が議論され、そこで決まった事について本部事務局(上田)が報告しました。

支部長会議  
総会に続き、支部長会議が開催され、①「ピアサポーター養成派遣事業」、②「支部の組織力強化」、③「広報・機関紙の拡充」、④「兄弟姉妹の会の全国展開」、⑤「11月の愛知大会」、⑥「地方の事件」の6議題について、熱気こもった議論が行われました。

全国5ヶ所で、昨年の宇奈月での養成研修を基本に行います。5ヶ所の全計画の詳細が決まり次第各支部に連絡します。



②「支部の組織力強化」では、会員・家族の高齢化と活性化が課題であり、「新しい家族会の動き」(島根、茨城、鳥取、福島を、池上、池田、中垣内が報告

しました。(イ)「支部加入のメリット」についての案内、(ウ)「会員動向・支部体制の把握と対策」として、アンケートの実施、9月22日に宇奈月で支部長研修を本部事務局(深谷)がそれぞれ報告しました。

④「兄弟姉妹の会の全国展開」について、理事が「親の高齢化でますます全国展開が求められる」と提案。本部に問い合わせが多くあり、本部では2月から実施、約10人が参加、7月から毎月開催とのこと。

③「広報・機関紙の拡充」では、中村副理事長から「旅立ち」の紙面拡大(タブロイド化)に付いて提案があり、多くの支持がありました。それが現状維持も若干ありましたが、

⑥「地方の事件」では、松本理事がひきこもりに関する福岡と大分の事件を報告しました。(詳細は略)以上、充実した報告と議論が行われ、中垣内副理事長の閉会の挨拶で4時50分終了しました。

⑤「11月の愛知大会」に、鈴木さん(名古屋オリエンジ)から、11月2日を大会、3日支部長会議を準備しているとの報告がありました。詳細については、近く、本部のホームページに掲載します。



NPO 法人 全国ひきこもり KHJ 家族会連合会 代表 池田 佳世  
第74号 発行日 平成26年7月6日(日) 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-4-4  
Tel 03-5944-5250 FAX 03-5944-5290 http://www.khj-h.com  
Facebook : http://www.facebook.com/khj.ho / Twitter : http://twitter.com/hikikomori\_khj



厚労省は、6月20日、報道関係者に「26年度社会福祉推進事業の採択団体」の公表を行いました。その中にKHJから申請していた「ひきこもりピアサポーター養成研修派遣に関する調査研究事業」が入りました。予算の85パーセント(12,696千円)が認定されました。

「この採択決定は、まさに、事業委員はじめ、ピアサポーターひとりひとりが勝ち取った成果だと思えます」(日野課長補佐)。昨年、KHJが実施した「ひきこもりピアサポーター事業」が大きく評価されました。東北ブロック(山形からころ)、北陸ブロック(新潟ピアサポ倶楽部、秋の会)、関東ブロック(楽の会、九州沖縄ブロック(大分ステッ

## 厚労省、KHJの「ひきこもりピアサポーター事業」認定

### 昨年実施のピアサポーター事業の評価で

認定された事業、今年も全国で5ヶ所(カッコ内は実施主体)で開催します。

## “ピアサポ”の画期的取り組み



新潟県・佐潟荘

池田理事長から「中垣内先生が新潟県の医療法人佐潟荘でとてもユニークな取り組みを指導されていると聞き、6月11日(水)の午後1時半からの「ピアサポ倶楽部」(月2回開催)の取材をしました。

大きな集客室に当事者、元当事者12~3人、親御さんが約40人集まり、前半が講演、後半は「ピアサポミーティング」が、4時まで開催されました。

開催少し前、大矢君(元当事者)はニコニコしながら私に「KHJピアサポーター認定証」を見せてくれました。

「ピアサポミーティング」が、4時まで開催されました。

これからは、録音・録画もメモすることも禁止です。中垣内先生作成の「ひきこもりからの回復 新・若者の10ステップ」を最初に当事者が一人一ス

「ピアサポミーティング」の模様を掲載します。

ひきこもりからの回復 新・「親の10ステップ」  
(Katsuragi version 2013.01)  
精神科医 中垣内正和

ひきこもりからの回復 新・若者の10ステップ  
(Okinawa40-version) 2014-01  
精神科医 中垣内正和

1面からの続き

「共依存」がひきこもりを深刻化させたのです。子どもが心配で、コントロールし過ぎてあり、よく先回りして私がやり過ぎだったと気づきました。まだ、子どもに謝っています。せんが、謝ります。」と、参加者全員がカミングアウトしていきます。

を整理したり・分析したり、当事者も親も声には出しませんが相互反映して・みんなをみんなまで、ピアサポートしているのです。この「ピアサポートミーティング」を終わりました。この「ピアサポートミーティング」は、新しい「ピアサポート」と言えます。当事者10人以上、親子30人が時間と内容を共有しお互いにサポートし合っていると言う、とても素晴らしい試みだと感じました。

終わって、大矢さん、村田さん、佐藤さんにインタビュー

三人とも元当事者、佐藤さんはこれまで参加したこと。佐潟湖サイドの公園で聞きました。(敬称略) 伊藤：これで何回になりましたか。 大矢：12回開催です。 伊藤：どんな点に心がけていますか。

三人とも元当事者、佐藤さんはこれまで参加したこと。佐潟湖サイドの公園で聞きました。(敬称略) 伊藤：これで何回になりましたか。 大矢：12回開催です。 伊藤：どんな点に心がけていますか。



村田：司会は、皆さんがどんどん話し、変わって行く姿を見守るスタイルでやっています。話し方は注文しません。AAのミーティング

御さんは、子どものことを言うのは慣れており、はじめの2〜3回は「うちの子はあーで、こーで、そーして勉強させてもらいます」などと話しますが、息子・娘と切り離して「私の性格はこうで、私はこう思う」という言い方に変わるのを待っています。

でもありません。三膳：親の立場にしてみる、自分の子どもの事を考えてしまう。 伊藤：「大変です」「私は大変です」と言っているだけだから、私は大変だと言いたいし、残ります。何年ひきこもり、いまこんな状態で、私は彼や彼女に対してこう言うふうに声をかけています。

中垣内先生にインタビュー この企画を考え・指導されている中垣内先生にインタビューしました。 伊藤：以前先生から聞いた「いいっぱなし、ききっぱなし、批判はしない」ですね。この言葉を聞いた時はイメージ出来ませんでした。今日、取材させてもらって良かったです。

中垣内：親の会は僕がアドバイザーです。断酒会スタイルです。AAはボスが出来ないので、狙いは、批判しないで、思った事を言いたいだけ言うことを目指しています。 伊藤：ああいうことを通じて自己変革を目指しているのですか。 中垣内：そうです。みんな高学歴で能力はあるが、訓練されていないので人前で話せないのです。しゃべれる人を集めて司会やスタッフになってもらっています。

中垣内：先日は池田さんと沖繩へ行きましたが沖繩国際大学のT先生がやられていました。AAは全国で1000ヶ所以上開催されています。あのスタイルで当事者が取り組めば回復するし、若者の一般的な回復

大矢：自分の子どもの話ばかりですと、親も子どもと一緒に話さなくてはいけないのと同じです。自分の事が話せるようになると子どもから離れたなと私は思います。 伊藤：17年ひきこもっていた当事者の話を聞いて感動しました。

中垣内：親の会は僕がアドバイザーです。断酒会スタイルです。AAはボスが出来ないので、狙いは、批判しないで、思った事を言いたいだけ言うことを目指しています。 伊藤：ああいうことを通じて自己変革を目指しているのですか。 中垣内：そうです。みんな高学歴で能力はあるが、訓練されていないので人前で話せないのです。しゃべれる人を集めて司会やスタッフになってもらっています。

中垣内：先日は池田さんと沖繩へ行きましたが沖繩国際大学のT先生がやられていました。AAは全国で1000ヶ所以上開催されています。あのスタイルで当事者が取り組めば回復するし、若者の一般的な回復

一人はみんなのために みんなは一人のために

ピアサポート、一人が一人をサポートする、それも大事ですが、みんなでもみんなをサポートする。自分の住む周りで、地域で、県で、国で、地球で・・・それが実現すれば、心優しい、楽しい社会が出来ると思います。

不登校・ひきこもりの方も安心 教育理念『1/1の教育』 全生徒一律ではなく、1人1人の生徒を育みます。 生徒第一...だから 生徒1人1人と向き合う 『1/1の教育』で生徒の自信と意欲を養います。 通信制高校(広域通信・単位制) 第一学院高等学校 4月よりウィザース高等学校・ウィザース ナビ高等学校から学校名を変更し、生まれ変わりました TEL 0120-761-080 www.daiichigakuin.ed.jp

ルポ「ひきこもり」 価格800円 行き詰まり、混迷を深める時代の狭間において、何とか活路を見出したいと願う方々に、問題の本質的な解決の方向を提言する書として本書をお薦めします。 推薦のことは 精神科医・医学博士 中垣内正和

無料(通信料は自己負担) 引きこもり電話相談 ☎ 03-5319-1430 火・木・土 PM1:00~5:00 第4土曜・祭日休み KHJホットライン

訪問サポーター士養成 教本(基礎編) 価格1000円 FAX 048(756)7802 ひきこもり理解への必読所として

教育理念『1/1の教育』 全生徒一律ではなく、1人1人の生徒を育みます。 生徒第一...だから 不登校・ひきこもりの方も安心 第一学院 高認・大学受験予備校 4月より第一高等学院から学校名を変更し、生まれ変わりました 通学科 通信科 TEL 0120-936-358 www.daiichigakuin-kounin.jp

社会不安障害総合情報サイト SADとは「Social Anxiety Disorder」の略称。社会不安障害と呼ばれる病気のことで。 SAD NET 人前で話したり、食べたり、書いたりしようとする、不安や恐怖をおぼえて赤面する、汗が出る、震えや口の渇きがおきる。本人がどんなに苦しくても周りにはなかなかその辛さが伝わらない。この症状、実は脳内物質に関する機能異常による病気の可能性が高いのです。 ・おおよそのSAD(社会不安障害)をチェック可 ・どこへ行けば治療して貰えるの? 全国2500ヶ所のSAD対応病院が検索できます。 社会不安障害の総合情報サイト URL: http://www.sad-net.jp/

# 厚労省の「全国担当者会議」でKHJの取組を報告

厚労省は、ひきこもり関連施策の一層の推進及び自治体職員にひきこもりに対するより深い理解を求めることを目的に、昨年と同様今年も、全国の都道府県指定都市におけるひきこもり事業担当者一同に集めた「ひきこもり対策関係全国担当者会議」の準備をしています。この会議では、昨年度から始まった「サポーター養成研修、派遣事業」の普及推進が大きな柱となっているとのこと。

その会議において、KHJのピアサポーターの経験と成果を自治体の参考とするために発表する時間が戴けそうです。ひきこもりのピアの力を伝える貴重な機会となりますので、KHJ本部は全力で取り組む考えです。

昨年の会議は、7月に開催され、全国から134人の担当者が参加し、KHJの活動を報告しました。(詳細は「旅立ち」70号に掲載しました。)



昨年行われた「都道府県担当者会議」

# 香川県 「ひきこもりサポーター養成研修」開催



このたび県より平成26年度ひきこもりサポーター養成研修事業を委託され、全7回の講座を設定、その内容等については、KHJ親の会代表の池田佳世理事長・中垣内正和副理事長よりご教示を頂くことができました。

研修の特徴は、多くの県民に養成研修を受けて頂きたいという県の意向もあり、①当事者、家族、学生、民生委員、行政職員、関係機関担当者等から幅広く受講者を募ったこと、また平成27年度に向けての派遣事業を念頭に、②当事者、家族との関わり方をより深く学べるよう、ロールプレイ形式を多く取り入れたことの2つです。

第1回5/25(日) 受講者総勢93名。  
県障害福祉課課長補佐 木原幹雄氏は、本養成研修について①基礎的な知識の習得、理解を深めるといふ企画であること②一人でも多くの方に理解をして頂

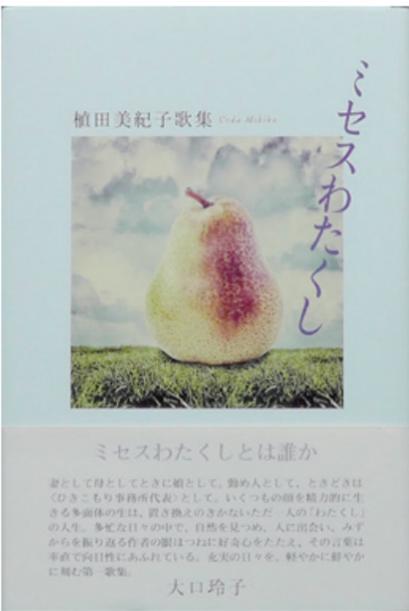
# 植田さんの「歌集」に 全国から感動・大反響

このほど、みやぎ「楠の会」の代表・植田さんが「歌集」を出版しました。題名は「ミセスわたくし」。

その感動・大反響の一部です。

「思わず当会に入っています。親の会活動のもつ創造性にあふれる作品集です。」 (中垣内先生)

「どの歌も目にすると、心が空に跳ね上がるようです。どこか体に穴が開いて、風が通っていくようです。涙と笑いで顔がくしゃくしゃになります。」 (福岡・吉村)



「ミセスわたくし」 (ISBN:978-4-86023-870-4 C0092 ￥2500)

「植田様の短歌を通じて、あのつらかった日々を受け止められるくらい回復している自分に気がつきました。併せて、当時の両親の心労も」(本部・深谷)

**KHJ本部に マスコミ各社の取材 相次ぐ**

池田理事長のインタビューを掲載

マスコミが本部事務局に「ひきこもり問題」について取材申し込みが相次いでいます。マスコミ掲載後、本部への問い合わせは50件以上ありました。

- ・「婦人公論」 4月号、緊急特集100万人の自立 難民「ひきこもり」出口は必ずある
- ・「読売新聞」 夕刊(5月20日、27日、6月3日)つなぐつながる「ひきこもり」40代へ増える中年層親も高齢化
- ・「女性自身」 6月3日号、「中年ひきこもり」で共倒れしない母の心得7、6月10日号、「わが子を孤独から救う「母の心得6」
- ・「週刊女性」 7月8日号、「わが子がひきこもり」親たちの戸惑いと葛藤

いずれも池田理事長のインタビューが掲載されています。この他、NHK、フジテレビからも本部に取材申し込みがありました。



# 池田代表 財務大臣政務官 山本博司参議院議員と会談

5月13日(火)、財務大臣政務官、山本博司参議院議員(写真右側)を訪問し、当会の池田理事長は参議院議員会館において会談を行いました。

昨年度のピアサポーター養成研修や、その後の活動の状況について報告し、ひきこもり問題の諸課題について意見交換を行いました。

支援の輪を広げて頂きたくと挨拶。川井からは7回の研修について説明。引き続き「養成研修事業概要」について県障害福祉課 植田ちひろ氏より説明。ひきこもり地域支援センター 細谷美奈子氏からは「センターの活動状況」について、「親の会の活動と効果」について川井より報告。最後にアンケートの提出をお願いし解散しました。

第2回6/15(日) 受講者総勢90名。  
(財務大臣政務官山本博司氏 県議会議員都築信行氏受講)

第一部は講師NPO法人教育研究所理事長 牟田武生氏による「長期化するひきこもりの理解と対応の仕方」でした。アンケートに基づきお答え頂く、双方の研修という形で進められ、基本的な認識として理解してもらおうことを第一としました。



それを次回からの専門の先生方に深めてもらい、また抜けていただきます。そして突っ込んだ質問をすることで、よりレベルアップにつなげていきます。

一例を挙げると質問どどのような状態をもって、ひきこもりから回復したと言えるか。

ひきこもりの定義はあるが、形式的ではなく内実的に回復したというのはいくことなのか。①日常生活の管理が自分自身でできるか ②精神的な揺れを自分自身で管理できるか ③経済的に自立のメドが立つ

# タブロイド版について

今回の「旅立ち」は、ご覧のとおり紙面の拡大で、文字や写真も大きくなり、読みやすくなったと思います。記事数や内容の文字数も増やすことができます。広告費を増やすことも出来ます。こうした点が6月22日の支部長会議で多くの支持を得ましたが、一方、現状維持(今までのサイズでよい)も若干ありました。

そこで、役員で検討した結果、「旅立ち」(74号)をタブロイド版で発行し、①皆さんの意見を聞いて今後の対応を考える、②「現状維持」支部には従来のサイズで送ると言うことになりました。(編集長・伊藤)

一般社団法人 SCSカウンセリング研究所 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-4-4 JR巣鴨駅徒歩5分 TEL: 03-3918-0655 FAX: 03-3918-7873

メールアドレス: scsikedata@t.toshima.ne.jp ホームページ: http://www.scself.com/

いろいろやってみて何度もふりかえしたら「親育ち・親子本能療法」を。たとえ病名がついていても。(例田宏子)

SCS = Self actualization Counseling Society 自己実現カウンセリング研究所

SCSカウンセリング研究所は ひきこもりに関する本人・父親・母親・その他関係する人に対して カウンセリングや各種の講座、活動を通して 人間成長を実現していく団体です

予約・お問合せ: 03-3918-0655

山形NPO法人

「から・ころセンター」の取組

から・ころセンターはNPO法人として9年目の活動になります。任意団体としての活動歴は23年余になります。ここまで続ける事が出来たのは、スタッフが当事者の会からスタートしたからだと思えます。

なるかは分かりませんが、よく家族会に参加する方が減少する傾向にある事が話になり、から・ころセンターも例外ではありません。

とする気持ちを受け止め、それでも家族会の仲間が見守っている事をお伝えしたく、毎月「家族会」の案内を今まで参加した方すべてにお出ししています。

私たちは先ほど述べたように、社会問題と捉えれば、親世代が次世代に交代できる社会的仕組みを作る運動をする事は必然の事です。

本質の捉え方は、この様な問題は（不登校やひきこもり等）は個々の問題はあるにしろ、総じて社会の問題として捉えてきたからです。



それぞれの相談から見えて来るのは、ご家族の疲弊です。10年、20年とこの問題と向き合っていくのは並大抵のことではありませ

折れてしまいうになるのは当たり前です。この辛さ、苦しさを家族会で共感し、支えあう事が家族会の目的の一つになります。諦めよう

おそらく、その流れの中で「ひきこもりの全県調査」が実施され、山形県厚生環境常任委員会の方々の現地調査が行われたものと思



KHJ本部「兄弟姉妹の居場所」を毎月開催

今年2月よりKHJ東東京支部「楽の会リーラ」で、「兄弟姉妹の居場所」を開催したところ、他地域からの問い合わせが沢山ありました。そこで、今年5月から本部主催として、毎月一

回、開催することとなりました。これまでに10名ほどの参加がありました。次回8月3日開催予定。詳細は本部ホームページに掲載します。

急遽13日に松江で講演会開催を決定。山陰中央新報の報道もあり、当事者12、3人を加えて40人が参加。池上さんの「KHJの家族会を作った」との提案に、

8月16日、山梨県甲府市で家族会設立大会開催。9月14日には鳥取県で家族会の設立会議が予定されています。

各県で家族会の設立相次ぐ

島根県・茨城県・福島県・山梨県で設立の動き

5月12日津山で、池上正樹さんの講演がありました。そこで、池上さんは、島根の当事者（半年程メールで交信）が「死ぬしかない」と言っている聞かされ、

催に繋がり、池田理事長が参加し、KHJ島根支部設立の準備がされています。7月6日、茨城県水戸市で家族会（茨城ひばりの会）設立大会、7月19日、福島県郡山市で家族会（飛鳥の会）の講演会に中垣内副理事長が講師を務



今後も、兄弟姉妹の会のあり方を模索し、少しずつ全国に広げていきたいと考えております。（神田映子、深谷守貞）

11日の島根県の家族会の開

の連携が進んでいます

問合せ NPO 法人 全国引きこもり KHJ 家族会連合会 ☎ 03-5944-5250

☆親の会（月例会）問い合わせ先（2014年6月30日現在）

Table listing KHJ branches across various regions including Tohoku, Kanto, and Chugoku. Each entry includes the branch name, address, and contact information.

Table listing KHJ branches in the Tohoku, Kanto, and Chugoku regions. Each entry includes the branch name, address, and contact information.

月例会に参加して気を楽しんだり情報交換しませんか
【本部事務局】 全国引きこもり KHJ 親の会（家族会連合会）
☎ 03-5944-5250 Fax 03-5944-5290 info@khj-h.com

【ご寄付お振込口座】 ゆうちょ銀行 口座記号：00110-6 口座記号：708246

加入者名： 特定非営利活動法人 全国引きこもり KHJ 親の会（家族会連合会）

Table listing KHJ branches in the Tohoku, Kanto, and Chugoku regions. Each entry includes the branch name, address, and contact information.